

(令和2年6月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	6月 は、水産物全般で安定した入荷があったことから総入荷量は前年同月並みとなった。総取扱金額は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で業務用の需要が低迷したことから前年同月比で12%下回った。 7月 は、ハモが入荷のピークを迎える。「梅雨の水を飲んで育つ」と言われるほど、この時期のハモは、さっぱりとした味わいが特徴である。涼しさを感じさせる「ハモの落とし」は調理方法も手軽でお薦めである。他にもお吸い物やハモしゃぶ鍋にしてもお召し上がりいただける。是非、御賞味いただきたい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は前年同月並みであったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷したことから16%下回った。 品目別には、いさき、たこの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。あまだい、まだい(養成)の入荷量は前年同月を下回ったが、単価は需要が低迷したことから下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月並みとなったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷したことから15%下回った。 品目別には、冷さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。冷えびの入荷量は前年同月並みとなったが、単価は需要が低迷したことから下回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量、単価はともに前年同月並みとなった。 品目別には、ちりめんの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。塩紅さけの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷したことから下回った。

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	兵庫，京都で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で３０％下回り，単価は９％上回った。
ま い わ し	千葉，鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で１９％下回ったが，単価は需要が低迷したことから１０％下回った。
さ ば	千葉，石川で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で３％下回ったが，単価は小型主体の入荷となったことから７％下回った。
す る め い か	石川で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で１１４％上回り，単価は１０％下回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で１３％下回り，単価は７％上回った。
は も （ 近 ）	愛媛，兵庫で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で３６％下回り，単価は１４％上回った。
けん さ き い か	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月並みとなったが，単価は需要が低迷したことから１１％下回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で９％下回ったが、単価は需要が低迷したことから前年同月並みとなった。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月比で６７％下回り、単価は３６％上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で９％上回り、単価は１９％下回った。
身 欠 に し ん	入荷量は前年同月比で３７％下回り、単価は９％上回った。